

ポスト750 宗門布教の方向性 第7回 法華宗陣門流

永遠のテーマ 唱題報恩行の実践躬行

宗祖ご降誕八百年にむかって

法華宗(陣門流)宗務総長

土屋善敬



門連和合の象徴的祭典だった 大日蓮展

日蓮聖人門下連合会(門連)が、去る六月七日揃って祖廟に参拝の後、理事会に於いて今から十七年後の平成三十三年(二〇二二)にお迎えする、宗祖ご降誕八百年慶讃の議を決議したことを確認いたしました。

私ごとではありますが、丁度卒寿となる齢で、生きていくかも覚束ないことでもあります。門連の役員としても入れ替り代わりしていることでもあります。申し送り申し伝えていきたいと思っております。

これから十七年、私も陣門流は門連各宗門との連帯感、一帯感の醸成につとめると共に、異体同心の祖訓を頂き、広宣流布の実現という祖願達成につとめて参ること肝要と心得、貞応元年(一一二二)のご降誕からはじまる宗祖のご生涯を思い、更にお題目の輪を世界に広げる努力をいたさねばならぬと思っております。

省みて思えば、本紙前編集長生駒雅幸上人が第二十八号紙上で述べられたように、十五年余の紆余曲折を経て実現した「大日蓮展」は、立教開宗七百五十年慶讃の掉尾を飾るに相応しく、門連和合の象徴的祭典でありました。

偏に門連各宗門協調の賜物であります。日蓮宗ご当局が経費大半の予算を計上負担され、その事務局が事のはじまりから、総締めくくり

の日までの一部始終にわたり精力的なご労作によるところ、一言添えて深甚の敬意を表します。

門連各宗門が、常に唱題修行をその中心テーマとされるように、私も陣門流に於いてもやはり「唱題報恩行」を提唱し展開中であり、宗祖日蓮聖人は、全精神を込めて法華経の真髓を探りあてられました。曾谷入道殿御返事の中では、

「妙法蓮華経と申すは、文にあらず、義にあらざる一経の心なり」と仰せられました。お題目は法華経一部の魂であり、一言の中に法華経全体の功德がもれなく収められているとの仰せであります。

私どもの門連日蓮上人のご指南は、「ひたすら宗祖日蓮聖人の御書を鏡として、新奇を銜わず、すなおにその教えを伝えよ」と仰せられております。

陣門流はこの門連のご指南をもつて宗として参りました。

信行と和合を原点に置いて

昭和五十六年(一九八一)私どもは、ご門下各宗門と共に宗祖御入滅七百年ご遠忌をお迎え致しました。この聖なる年を私どもの「唱題報恩行」元年と位置づけました。五日間の千部法要期間中は、ひたすらお題目をお唱えするよう提唱いたしました。

全国の檀信徒には、お題目を任意にお唱えした数を題目旗に記し、菩提寺を通して奉納することを薦めました。

各末寺からは、競って「お題目奉納旗」が寄せられ、総本山の総門(赤門)から大本堂向拝までの参道両側が、純白地に墨書された「お題目旗」でびっしりと埋まりました。

二十三年前のことでありました。法華経一部は六九、三八四文字。七字のお題目を一万遍お唱えすると七万文字、法華経一部読誦に匹敵すると数えられました。

単純素朴な唱題行、地域によって、講中によって趣を変え、その節廻し



総本山本成寺本堂

と音律の妙は、心に染み入る素晴らしい響きを醸し出しました。

この唱題報恩行は、平成九年の総本山本成寺開創七百年と、平成十四年の立教開宗七百五十年の、両慶讃大法要に引き継がれ、御題目旗奉納の倍増と共に定着いたしました。

私も陣門流は、ひたすらなるこの唱題報恩行を、信行と和合の原点と置いて、宗祖ご降誕八百年に向かつて出発いたします。

又、私どもには唯一の宗祖御遺蹟、伊豆伊東の祖岩の聖地があります。今から六年後、平成二十二年五月十二日は、弘長元年(一一二六)の伊豆大法難より七百五十年の記念すべき聖日となります。

この聖日に向かっては、「お題目を唱えましょう」のピラと垂れ幕を全国末寺に配布しました。口に唱え、心に念じて、黙唱があ

り、ただ一唱があり、三唱、十唱、百遍二百遍一部と、様々な唱題行がありますが、このたびは、「一日に一度は異体同心の祈りのお題目を捧げよう、平和への願いを込めて」をスローガンにいたしました。

この世に浄らかな仏国土を顕現することが宗祖の祈りであります。五濁乱漫、末法の色濃い世界が、平和でありますように。人類が幸せでありますように。

そして、汚染のすむ地球環境を守るため、門連に寄せる期待と課せられた使命は、無限大に膨らんでいきます。

日蓮聖人門下に連なる私ども、心底から異口同音に、異体同心のお題目を唱え、四海帰妙の美酒に酔い痴れるときを夢みて、前進することを、ご降誕八百年の佳辰に向かつての誓いいたします。

旅・生・活 PLUS JB

行きたい旅が、
現実になる旅テクです。



気軽にためて、行きたい時に何でも使えて。フリープラン
いつでも入金OK。いつでも出金OK。日歩計算で毎日サービス額をプラス。
通常サービス額 1.50% (年利日歩計算)
※どちらのプランも、専用の「たびたびバンクカード」で旅行のお支払いができ、いつでも出金OK。

計画的にしっかりためて、大きな旅を実現する。定期積立プラン
毎月払いコースと一時払いコースで満期時にはお支払い報酬にサービス額をプラス。
サービス額 1.75% (年利月数計算)

たびたびバンクフリープラン サービス額2倍 キャンペーン実施中! 通常サービス額 1.50%が今なら → 3.00% (年利日歩計算)
※キャンペーンお申込期間 2004年9月30日(木)まで
お申込日から6ヶ月間サービス額が2倍に! 早くご入金いただくほどおトクです。
※キャンペーン年利換算適用期間は、お申込日から6ヶ月+28日(カードお届け日数分)といたします。
※月利換算(年利日歩計算)0.25%となります。※お申込みの際はたびたびバンク規約約款をご覧ください。

自分スタイルで増やせる、おトクな旅行積立
JTBたびたびバンク
フリープラン/定期積立プラン

今すぐ!資料請求 PLUS JTBサービスセンター 03-3865-0714・06-6263-0714 (平日)10:00~21:00 (土・日・祝日)10:00~18:00 www.jtb.co.jp/tabitabibank/

残暑御見舞



日蓮聖人門下連合会

(平成十六年八月現在)

日蓮宗宗務院

管 長 藤井 日光 財務部長 渡辺 照敏
 宗務総長 岩間 湛正 宗務総長室長 遠藤 文祥
 伝道局長 栗原 正震 現代宗教研究所長 田澤 元泰
 総務局長 中條 令紹 参 与 堀江 宏正
 伝道部長 田端 義宏 参 与 浅井 玄裕
 教務部長 中里 観正 日蓮宗新聞社社長 長 亮行
 総務部長 垣本 孝精

〒146-8544 東京都大田区池上一-132-115
 電話 〇三(三七五)七七八一
 FAX 〇三(三七五)七八八六

法華宗(本門流)宗務院

管 長 大塚 日正
 宗務総長 渡辺 俊岳
 財務部長 佐藤 義賢
 教学部長 佐々木 明乘
 教化部長 高村 法顕
 庶務部長 有田 秀達

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二-19-1
 電話 〇三(五六一四)三〇五五代
 FAX 〇三(五六一四)三〇五六

顕本法華宗宗務院

管 長 中山 日咲
 宗務総長 中村 通義
 宗務次長 島田 幸晴
 財務部長 藤崎 行学
 布教部長 早川 義正
 教務部長 桑村 信慶
 社会部長 多門 顕正
 庶務部長 津村 乘信

〒606-0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町九一
 電話 〇七五(七九二)七二七一
 FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長 鈴木 日艸
 宗務総長 土屋 善敬
 総務部長 佐古 弘文
 教学部長 門谷 東生
 財務部長 八木 恵岳
 教化部長 佐古 大弦
 宗務参事 大島 崇皐

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-135-16
 電話 〇三(三九一八)七二九〇
 FAX 〇三(三三五六)〇二二一

本門佛立宗宗務本庁

講 有 小山 日誠
 講 尊 梶本 日裔
 講 尊 野崎 日丞
 宗務総長 山内 日開
 宗務副総長 石田 日奥
 宗務副総長 嶋田 幾雄

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上名東町二-10番地
 電話 〇七五(四六一)一六六代
 FAX 〇七五(四六四)五五九九

日蓮本宗宗務院

管 長 嘉儀 日有
 宗務総長 野間 正明
 宗務部長 長崎 秀要
 教学部長 岩崎 広義
 財務部長 原 光明
 法務部長 原 光明

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八
 電話 〇七五(七七二)三三九〇
 FAX 〇七五(七七二)五九一四

法華宗(真門流)宗務庁

管 長 上川 日乾
 宗務総長 竹内 正道
 宗務部長 上田 浩岳
 総務部長 辻本 寛孝
 教学部長 木村 完祥
 教化部長 堀村 智泰
 財務部長 井上 隆啓
 社会部長 本多 信正
 主 事 足立 真正
 主 事 山口 英泰

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
 電話 〇七五(四四二)五七六二
 FAX 〇七五(四四二)五六六六

本門法華宗宗務院

管 長 高邊 日援
 宗務総長 信隆 日系
 宗務部長 増田 隆雄
 宗務部長 吉村 頼彦
 総務部長 土畑 信教
 財務部長 音羽 隆全
 教務部長 真鍋 弘喜
 庶務部長 山下 通雄
 門連常任理事 山 下 通 雄

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五
 妙蓮寺内
 電話 〇七五(四五二)三五二七
 FAX 〇七五(四五二)三五九七

宗教法人 国柱会

責 任 主 田 中 暉 丘
 理 事 長 古 知 毅 彦
 門連常任理事 石 見 良 教
 門連理事 井 上 宝 護
 門連理事 相 澤 宏 明

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一-19-18
 電話 〇三(三六五六)七二二代
 FAX 〇三(三六五六)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

京都日蓮聖人門下連合会

会 長 上川 日乾
 副会長 久村 日鑒
 理 事 長 矢 放 眞 文
 副理事長 杉 若 恵 隆

京門連事務局
 〒602-8447 京都府京都市上京区紋屋町三三〇
 法華宗真門流総本山本隆寺内
 電話 〇七五(四四二)五七六二
 FAX 〇七五(四四二)五六六六

日本山妙法寺大僧伽

主 座 塙 行 幸
 長 老 石 山 定 光
 長 老 吉 田 行 典
 長 老 酒 井 天 信
 長 老 今 井 行 康
 長 老 二 宮 和 嘉
 長 老 池 田 行 朗

日本山妙法寺大僧伽事務局
 〒206-0812 東京都稲城市矢野口三五七-1番地
 電話 〇四二(三七八)三三九五
 FAX 〇四二(三七九)〇七四四



舞見御暑残

日蓮聖人門下連合会

(平成16年8月現在)

<p>法華宗(陣門流)総本山 本成寺</p> <p>〒955 0845 新潟県三条市西本成寺一丁目二〇 電話 〇二五六(三三三)〇〇〇八</p> <p>貫首 鈴木日艸 執事 栗田孝之 執事 平井正 執事 鈴木正 執事 高橋俊 執事 荒川公孝 執事 西川聡達</p>	<p>顕本法華宗総本山 妙満寺</p> <p>〒606 0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町九一 電話 〇七五(七九二)七二七一 FAX 〇七五(七九二)七二六七</p> <p>貫首 中山日暁 総務 島田幸晴 執事 山本晃道 執事 中村英司 執事 湯原正純 執事 湯原義就 執事 補覧</p>	<p>日蓮宗大本山 池上本門寺</p> <p>〒146 8576 東京都大田区池上一一―一 電話 〇三(三七五)二二三三 FAX 〇三(三七五)三三五〇</p> <p>貫首 酒井日慈 執事 早水日秀 役員一同</p>	<p>日蓮宗総本山 身延山久遠寺</p> <p>〒409 2593 山梨県南巨摩郡身延町身延 電話 〇五五六(二二)一〇一一 FAX 〇五五六(二二)一〇九四</p> <p>法主 藤井日光 総務 井上瑞雄</p>
<p>本門佛立宗本山 宥清寺</p> <p>〒606 8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ヶ鼻町〇〇五一 電話 〇七五(四六三)四六二〇代 FAX 〇七五(四六三)四六五一</p> <p>住持 小向日誠 二十四世 田中清希 執事 伊藤隆之 事務局長 伊藤隆之</p>	<p>多寶富士山 日蓮宗本山 要法寺</p> <p>〒606 8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八 電話 〇七五(七七二)三三九〇 FAX 〇七五(七七二)五九一四</p> <p>貫首 嘉儀日有 大学頭 丹治日遠 執事 野間正明 執事 岩崎広義 執事 原光明</p>	<p>本門法華宗大本山 妙蓮寺</p> <p>〒602 8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五 電話 〇七五(四五二)三五二七 FAX 〇七五(四五二)三五九七</p> <p>貫首 杉本日慈 執事 飯田信榮 役員一同</p>	<p>法華宗(真門流)総本山 本隆寺</p> <p>〒602 8447 京都市上京区智恵院通り五辻上ル紋屋町 電話 〇七五(四四二)五七六二 FAX 〇七五(四四二)五六六六</p> <p>貫主 上川日乾 執事 矢多信正 執事 本立真正 書記 菅木研吾 書記 永岡悠希</p>
<p>日興上人御廟所 日蓮宗大本山 富士山重須本門寺</p> <p>〒418 0112 静岡県富士宮市北山四九六五 電話 〇五四四(五八)一〇〇四 FAX 〇五四四(五九)〇三〇三</p> <p>貫首 本間日諄 参事 井出教道 参事 井親雄 参事 与井野上正文</p>	<p>日蓮宗本山 比企谷 妙本寺</p> <p>〒248 0007 鎌倉市大町一―一五―一 電話 〇四六七(二二)〇七七七 FAX 〇四六七(二五)六九六七</p> <p>貫首 加藤日暉 執事 大埜稔申 執事 立野正泰 山務役員一同</p>	<p>日蓮宗大本山 妙顕寺</p> <p>〒602 0005 京都市上京区寺ノ内通堀川東入 電話 〇七五(四一四)〇八〇八 FAX 〇七五(四一四)〇八四八</p> <p>貫首 南條孝仁 執事 原光司</p>	<p>日蓮聖人出家得度《報恩》の霊跡 大本山 清澄寺</p> <p>〒209 5505 千葉県安房郡天津小湊町清澄三三二―一 電話 〇四七〇(九四)〇五二五 FAX 〇四七〇(九四)〇五二七</p> <p>別当 岡崎日泰 団参には是非、研修会館をご利用ください。 一名八千円、二百名様まで可。</p>
<p>日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗東身延本山 藻原寺</p> <p>〒297 0026 千葉県茂原市茂原一―二〇―一 電話 〇四七五(二二)三二五三 FAX 〇四七五(二二)一一七三</p> <p>貫首 持田日勇 総務 増田寶泉 執事 富永一道 役員一同</p>	<p>日蓮宗本山 頂妙寺</p> <p>〒606 8376 京都市左京区仁王門通川端東入大菊町九六 電話 〇七五(七七二)〇五六二 FAX 〇七五(七五二)一〇〇四</p> <p>貫首 永田恵遠 参事 山田信行 同 安藤隆司 同 伊藤照源 執事 藤井之部 執事 藤井之部 同 川合陽雄</p>	<p>やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺</p> <p>〒166 0013 東京都杉並区堀之内三一―四八―八 電話 〇三(三三三)三三三三 FAX 〇三(三三三)三三三三</p> <p>山主 嶋田日新</p>	<p>日蓮宗大本山 法華経寺</p> <p>〒272 0813 千葉県市川市中山二―一〇―一 電話 〇四七(三三三)三三三三 FAX 〇四七(三三三)一七九六</p> <p>貫首 新井日湛 執事 渡辺貞観 参事 関野康 同 田代浩敬 同 喜多村教雅 同 渡辺行樹 同 植田樹</p>

門連時報

身延理事会開催さる

平成十六年六月七日(月)日蓮宗総本山身延山久遠寺(藤井日光法主)で、「日蓮聖人門下連合会祖廟参詣・身延理事会」が開催され、門連顧問・常任理事・理事・監査・京都門下連合会代表・大阪門下懇話会代表など計二十三名が参加した。

午前十一時に集合し、祖廟並びに御草庵にて法味言上。その後雨天の為、常唱殿前にて記念撮影。大本堂にて法味言上し、報恩閣に移動。昼食後、参加者は宝物館を自由参観。午後二時より理事会が開催された。

日蓮宗事務総長岩間湛正理事長が座長となり議題に沿って議事を進行。事務局より「平成十五年度事業報告」がなされ、常任理事会・理事会の開催、門連だより発行に関する機関紙

編集委員会の開催、各派門連役員の変更、祖廟輪番奉仕実施等について報告がなされた。

次に、「平成十五年度決算報告」について事務局より決算報告後、齊藤隆彦監査より監査会の報告がなされ承認。

「平成十六年度事業計画案」については前年度同様祖廟参詣、理事会開催、門連だよりの年二回の発行について説明を行い、それに伴った予算案についても承認されたが、「七五〇事業企画調査費」で未使用であった二百万円については、新たに「降誕八〇〇年準備費(仮称)」として予算化されることが決定された。

続いて地方門連活動に関する報告として、京都門下連合会・矢放真文

陣門流総本山本成寺にて御真蹟発見

法華宗(陣門流)総本山本成寺(新潟県三条市)に伝来する曼荼羅御本尊が、日蓮大聖人の御真筆であると、この程確認された。

本成寺には、佐渡の信徒より寄進された大小二幅の曼荼羅御本尊が御真筆として伝わり、その内、小型の一幅は既に御真蹟と認定され、「日蓮大聖人御真蹟」(立正安国会刊)にも紹介された。

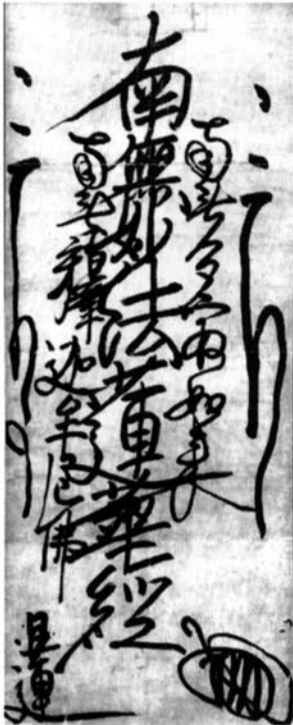
立教開宗七百五十年を契機として、大型の一幅を修繕、調査したところ書式と筆跡などが決め手となって、確かに大聖人が佐渡で揮毫された御真筆と判明した。

鑑定に携って下さったのは、立正大学名誉教授・中尾堯先生と身延山大学教授・寺尾英智先生である。

中尾先生によると、文永十年(一

二七二)冬、佐渡一谷において書かれたもので、日蓮宗頂妙寺に伝わる御本尊と同時に揮毫されたと推定される。大型の曼荼羅御本尊は、一般に高く掲げて礼拝するもので、佐渡の信徒たちが大聖人に揮毫をお願いし、皆で唱題、礼拝していたと考えられるという。

この曼荼羅御本尊こそ、大聖人が流瀆の身にありながらも、佐渡の



(112.1cm x 44.4cm)

人々への法華経の布教に心血を注がれた証なのである。

大聖人が、鎌倉幕府よりの執拗な監視や身の危険を省みず、佐渡の人々に弘教せんとされた、そのお志を受けつぎ、私どもは未来に向けて、曼荼羅御本尊と共に、いつまでも法華経の信仰を護りつづけ、伝えていきたい。

(陣門流事務総長・土屋善敬)



日蓮聖人門下連合会 祖廟参詣(平成16年6月7日)

常任理事より、門下合同による御会式が毎年開催されていることが報告された。また今年度の京都理事会の開催日程として十一月二十五日(木)の案が出された。次に大阪門下懇話会・門谷光瑞師より懇話会の諸活動について報告がなされた。北海道門下連合会の存続については、事務局が現状を調査してから報告することが要請された。

次に、「降誕八〇〇年準備企画」について、降誕八〇〇年に向けて、新たな事業を企画するため、現在の機

関紙編集委員等、門連内の若い人達を中心にして準備がなされることが承認された。

その他に、機関紙編集委員会について、出席率の向上を図るため、開催通知と返信書を各委員に出すだけでなく、各派宗務院・宗務庁・事務局に開催日程の通知を出すこと、親睦を深めた。

午後三時二十分に閉会。

会場を下部ホテルに移し、午後六時より懇親会を開催し、会員相互の親睦を深めた。

●京都日蓮聖人門下連合会●

比叡山横川定光院本堂庫裡の上棟式

平成十六年六月二十五日、若き日蓮聖人が勉学に励まれた聖地、比叡山横川定光院(杉若恵隆主監)定光院護持顕彰会会長の、本堂庫裡の上棟式が行われた。京都日蓮宗本山の貫首をはじめ、百人をこえる参列者が喜びを共にした。

式は導師に杉若主監、修法導師に大岩泰俊師、式衆には修法師が古式にのっとり勤めた。杉若主監は、「宗門先人の定光院に対する護持顕彰のご恩と、延暦寺の理解、立教開宗七五〇年慶讃局の賛助、宗門僧侶をはじめ、顕彰会会員、その他多くの方々に感謝したい」と語った。

この度の事業は、本堂、書院、庫裡の木造二棟の総改修の大事業で、平成十七年九月三十日の完成を目指す。東には清澄、中央には身延に研修道場があるが今後、関西の研修道場として活用されることが期待される。

『第四十回 夏季大学』、今、生きるよろこび生かされるよろこび

本年度も、日蓮聖人の誠心を永遠に語り継ぐをテーマに「第四十回夏季大学」が開催される。日時は、平成十六年八月二十八日(土)午前九時三十分〜午後四時、場所は、本能寺文化会館(京都市 御池通り河原町西入る 京都市役所前 電話〇七五-二二二-二二二二)。受講料は、二千元(昼食代含む)。

午前十時からの開講式の後、「生きるよろこび」と題して真門流総本山本隆寺貫主の上川日乾院下が講演され、午後十二時三十分より「法難に生きる」〜日蓮聖人の御生涯から〜と題して身延山大学教授文学博士の寺尾英智氏が講演、引き続き、「古典にみる食と健康 過去、現在、未来」と題して京都府立大学助教授農学博士の佐藤健司氏が講演される。いずれも興味深い内容になっており、酷暑の京都で心にそよ風を入れて頂きたい。

三十三年ぶりに日蓮大聖人お会式万燈行列を復活

日蓮大聖人のお会式を厳修するにあたり、万燈提灯行列を三十三年ぶりに復活する。日蓮大聖人を偲び、釈尊の真実の声「南無妙法蓮華経」を共に唱え、世界の平和を祈る。

平成十六年十月二日(土)午後五時(雨天の場合は大本山本成寺にて厳修)から、京都東山にある円山音楽堂にてお会式法要が厳修された後、万燈提灯行列が出発し、京都で

また、多少の旅費の援助が予備費で可能かどうか、事務局で試算し、次回常任理事会で報告することが要請された。

毎月3回お届けします。信仰・ふれあい・笑顔…

宗門唯一の日蓮宗新聞

伝道機関紙 毎月1日・10日・20日 年間購読料3,600円(送料込)

教誌 **正法** 一冊350円(送料別) 年間購読料1,700円(送料込)

○年4回発行
お正月(1月号)/春季彼岸(3月号)
お盆(7月号)/お彼岸・お会式(9月号)

詳しくは…

(株)日蓮宗新聞社
〒146-0082 東京都大田区池上7-23-3
TEL.03-3755-5271 / FAX.03-3753-7028
nichiren@t3.rim.or.jp
http://www.t3.rim.or.jp/~nichiren/
(業務時間 午前9時30分~午後5時)

日蓮宗新聞社のお店
〒146-0082 東京都大田区池上4-18-1
TEL&FAX.03-3755-6462
(業務時間 午前10時~午後4時)
※いずれも土・日・祝・祭日休み

各派・教団・短信

定する「遺囑伝承の儀」が宗内要職
 教員役員及び歴代講者・日蓮上人有
 縁の方々の参列のもと、厳かに執り
 行なわれた。日蓮上人はこの日より
 四年間、ことには佛立開講百五十年
 奉賛御奉公の円成という重責を担わ
 れる。

◆佛立第二十三世講者・日蓮上人
 は、去る七月四日、奈良本妙寺に於
 いて「講者ご退任御帰山式」が、
 寺内及び末寺の教員が参集し、挙行
 された。日蓮上人は帰山の奉告文を
 もって、「任期四カ年の講者としての
 無事ご奉公成就の御礼」を言上され
 た。

◆去る五月十九日より、二泊三日で
 「本山奉仕住職・担任の部」が開
 催された。開講百五十年奉賛御奉公
 は宗内挙げての大改良が叫ばれてい
 る。まず率先改良の姿勢を示すべく
 全国各地から二十三師の住職、担任
 が参集した。

◆去る八月六日より二泊三日の日程
 で、滋賀県今津市の佛立研修センタ
 ーを会場とし、「青少年リーダー研
 修会」が開催される。全国各布教区か
 らリーダーとして次代を担う二十前
 後の精鋭を八十七名代表して参加頂
 く。(前島照力)

法華宗本門流

◆第五十七次定
 期宗会が五月十
 八・十九日の両日、宗務院におい
 て開催。渡辺宗務院長が施政方針に続
 き、予決算の承認可決等十四議案を
 議定して閉会。

◆全国宗務所長会が五月二十七・二
 十八日に宗務院で開催。本年度の宗
 務執行等十八議題を協議して閉会。
 ◆法華宗米開教三十五周年を記念
 して渡辺宗務院長を団長とする巡拝
 団が、六月十日よりロサンゼルス、
 サンフランシスコの二教会を訪問。
 記念法要に併せて開宗七百五十年慶
 法要をアメリカの檀信徒とともに奉
 修。コルマ日系人墓地にも初めて参
 拝し回向を行った。

◆本年度開催の教学講習会は、次の
 六会場。北海道―八月二十五―二十
 七日(蘭越町・幽泉閣)。東北―九月
 九―十一日(盛岡市・ホテル大観)。
 東京―十月五―七日(中央区・法華
 宗宗務院)。京都―十一月十四―十七
 日(京都市・大本山本能寺)。中国―
 十月十八―二十日(岡山市・東光寺)。
 九州―九月二十八―三十日(鹿児島
 県・屋久島グリーンホテル)。

◆全国教区布教師研修会が九月十三
 ・十五日、宗務院(東京・日本橋人
 形町)を会場に開催される。
 ◆教師養成特別講習会が、十月・光
 長寺、十七年二月・本能寺、四月・
 本興寺の各大本山を巡次会場に開催
 される。(矢吹慈英)

本門佛立宗

◆去る七月二
 日、本山宥清寺
 のご尊前では、佛立第二十四世講
 者・小山日誠上人への講有位の継承
 と本山・宥清寺第六十五世住職を確

定する「遺囑伝承の儀」が宗内要職
 教員役員及び歴代講者・日蓮上人有
 縁の方々の参列のもと、厳かに執り
 行なわれた。日蓮上人はこの日より
 四年間、ことには佛立開講百五十年
 奉賛御奉公の円成という重責を担わ
 れる。

◆佛立第二十三世講者・日蓮上人
 は、去る七月四日、奈良本妙寺に於
 いて「講者ご退任御帰山式」が、
 寺内及び末寺の教員が参集し、挙行
 された。日蓮上人は帰山の奉告文を
 もって、「任期四カ年の講者としての
 無事ご奉公成就の御礼」を言上され
 た。

◆去る五月十九日より、二泊三日で
 「本山奉仕住職・担任の部」が開
 催された。開講百五十年奉賛御奉公
 は宗内挙げての大改良が叫ばれてい
 る。まず率先改良の姿勢を示すべく
 全国各地から二十三師の住職、担任
 が参集した。

◆去る八月六日より二泊三日の日程
 で、滋賀県今津市の佛立研修センタ
 ーを会場とし、「青少年リーダー研
 修会」が開催される。全国各布教区か
 らリーダーとして次代を担う二十前
 後の精鋭を八十七名代表して参加頂
 く。(前島照力)

◆本年度開催の教学講習会は、次の
 六会場。北海道―八月二十五―二十
 七日(蘭越町・幽泉閣)。東北―九月
 九―十一日(盛岡市・ホテル大観)。
 東京―十月五―七日(中央区・法華
 宗宗務院)。京都―十一月十四―十七
 日(京都市・大本山本能寺)。中国―
 十月十八―二十日(岡山市・東光寺)。
 九州―九月二十八―三十日(鹿児島
 県・屋久島グリーンホテル)。

◆全国教区布教師研修会が九月十三
 ・十五日、宗務院(東京・日本橋人
 形町)を会場に開催される。
 ◆教師養成特別講習会が、十月・光
 長寺、十七年二月・本能寺、四月・
 本興寺の各大本山を巡次会場に開催
 される。(矢吹慈英)

◆去る七月二
 日、本山宥清寺
 のご尊前では、佛立第二十四世講
 者・小山日誠上人への講有位の継承
 と本山・宥清寺第六十五世住職を確

◆去る七月二
 日、本山宥清寺
 のご尊前では、佛立第二十四世講
 者・小山日誠上人への講有位の継承
 と本山・宥清寺第六十五世住職を確

る中、「開教師とは何か」という根
 本の問題から審議を託された国際開
 教対策委員会が、現場の僧侶と対面
 するのは初めて。会議では、国際開
 教対策委員会が現状把握に終始する
 一方、これまで充分に発言する機会
 がなかった開教師から要望や訴えが
 あった。

◆「第四十二回全国日蓮宗青年僧秋
 田結集」伝える未来への道として和
 音が六月十日に開催され、僧侶約
 二百二十人が出席。秋田での開催は
 初めてで、今年のメインイベントと
 なる唱題行脚が町の注目を集めた。
 結集に先立ち行われた代表者会議・
 総会では、新執行部(委員長三浦
 海慧北海道小樽市妙光寺住職)の紹
 介にあわせ、従来の活動を継続しつ
 つ、時代に即した新たな活動を進め
 ていく決意が表明された。午後三時
 半、白い手甲に脚絆という行脚スタ
 イルに「日蓮宗」と書かれたハチマ
 キを締め、ホテルを出発。藤浩一前
 委員長と三浦新委員長を先頭に二列
 に並び、約一時間、唱題行脚を繰り
 広げた。買い物途中に足を止めた若
 い女性は「すごい。若いお坊さんが
 こんなにいるのは初めて見た。こう
 して見ると、若い人も捨てたもんじ
 ゃないと思います」と驚きの表情
 が見られた。(大澤宏明)

◆一月十五日、
 京都法華門流懇
 話会(ルビノ堀川)。二十九日、第四
 回慶讃法要検討委員会開催。
 ◆二月六日、二相日興上人第六百七
 十二年御報恩御正法要(興師会)
 奉修。七日、教師研修会開催。
 ◆三月十六日、御開山日尊上人御影
 遷座式、開山堂へ。
 ◆四月二十七日、第二回宝蔵収納委
 員会開催。
 ◆五月七日、第二回奉納閉基大会開
 催。八日、御開山日尊上人第六百六
 十年御報恩御正法要(開山会)奉
 修。十九日、第一回鐘樓堂・薬医門
 等修復委員会開催。
 ◆六月七日、第三十九回夏期研修会
 第一回運営委員会開催。十日、第七
 十九回臨時宗会・門末会開催。二十
 一日、第二回鐘樓堂・薬医門等修復
 委員会開催。二十四日、第一回王城
 開闢法要委員会開催。(桐生信行)

講習会、本化儀典研修会、婦人の集
 いを開催。毎月第三日曜日、妙宗大
 霊廟例月供養会厳修。毎週一回日蓮
 聖人御遺文輪読会開催。毎月一回
 「日蓮聖人乃教義」勉強会開催。
 ◆一月一日、明治神宮元日参拝。新
 年拝賀式・元旦大國禱・神酒拝戴式
 厳修。七日、昭和天皇祭厳修。
 ◆二月十一日、紀元節慶讃法要厳修。
 十五日、釈尊涅槃会報恩法要厳修。
 十六日、聖祖降誕会慶讃法要厳修。
 二十一日、静岡地方にて日蓮主義街
 頭演説会開催。
 ◆三月二十七日、名古屋にて日蓮主
 義街頭演説会。
 ◆四月四日、申孝園桜まつり開催。
 八日、釈尊降誕会慶讃法要厳修。二
 十一日、四国地方日蓮主義講習会、
 街宣活動。二十八日、立正会慶讃法
 要厳修。田中暉丘賽主を団長に第七
 十四回身延詣詣団開催。
 ◆五月十二日、伊豆法難会慶讃法要
 厳修。二十一日、東北地方・常磐地
 方日蓮主義講習会・街宣活動。
 ◆六月五日、長崎・雲仙にて九州地
 方開教九十年記念大会開催。九日、
 田中賽主以下日韓仏教交流協議会
 倉光明寺大会。(石見良教)

二月二十一日
 千葉県内の末寺を拠点として、顕本法
 華青年会の有志による恒例の寒修行
 (唱題行脚)が寒風の中行われた。
 ◆二月二十五日、二十六日の二日
 間、京都総本山妙満寺において第五
 十九定期宗会が開催された。平成十
 五年度事業・決算報告、平成十六年
 度事業・予算案等が審議された後、
 任期満了の管長、中山日咲下下の再
 任が承認された。また、病氣療養の
 ため、渡辺昭夫宗務次長が退任され
 た。後任人事として、新次長に庶務
 部長の島田幸晴師、新庶務部長に津
 村兼信師が選任された。
 ◆二月二十八日、木更津市の由緒寺
 院本立寺(大森俊栄住職)で、「東
 部連合会」主催の「開祖日什大正師
 報恩法要」(開山忌)が厳修された。
 法要に引き続き、全青協の神仁先生
 を講師にお招きし、仏教界の現状と
 将来の展望について講演を頂き、活
 発な質疑応答が交わされた。
 ◆五月十五日、十六日の二日間、京
 都総本山妙満寺に於いて、恒例の春
 季報恩大法要が大導師菅長中山日咲

下のもと厳修された。過日本堂の
 ご本尊の修復が行われており、一段
 と荘厳味を増したご尊像を拝し、僧
 俗共に満堂盛大な法要となった。
 ◆七月二十四日、二十七日の四日
 間、京都総本山妙満寺に於いて第四
 十一回顕本法華宗青年会が開催
 された。全国より多数の中高生が
 集加した。勤行や唱題行、写経、作
 品制作、レクリエーション等、硬軟
 取り混ぜた小さな修行に励んだ。
 (多門顕正)

二月二十二日
 教区所長会、布
 教師会開催。本年度各教区の活動計
 画案報告、布教計画を作成。
 ◆三月二十六日、二十八日僧風林開
 催。
 ◆四月九日、二十八日春季学林開
 講。
 ◆五月一日、十九日第三学区で
 は、教区研修会を開催、奈良方面西
 門末寺院参拝、奈良国立博物館の特
 別展を見学した。
 ◆五月二十四日、二十六日第一教区で
 は、日像菩薩の足跡をたずねて金沢、
 能登方面にて「檀信徒の集い」研修
 旅行を開催。
 ◆六月十九日総本山本隆寺にて真門
 教学講習会開催。講習会後、東福寺
 を訪ね日蓮柱を参拝。
 ◆六月二十七日第二教区では、檀信
 徒研修会を開催。
 ◆八月一日、三日晩天講座開催。
 ◆二月三日、総
 本山本成寺にお
 いて「節分鬼踊り追儺式」が貫首鈴
 木日輝下御導師のもと厳修され
 た。
 ◆三月四日、前管長、南無日香聖人
 が遷化され、同日二日に東京日暮里
 の法光寺において密葬が営まれた。
 ◆三月八・九日、第三百三次定時宗会
 が宗務院会議室において開催された。
 ◆四月七日、宗務所長会が、宗務院
 会議室において開催された。
 ◆五月十二日、伊豆・靈蹟別院連着
 寺において、「組若法難会」が厳修さ
 れ、本年も全国寺院よりの檀信徒が
 参拝した。
 ◆五月十三日より六月二十一日まで
 の四〇日間、総本山本成寺において、
 「法華宗学林」が開催され、今年も全
 国より寺院徒弟が集まった。学林生

達は、毎日、早朝より教学研究・練
 経・浄行などに励み、行学二道に精
 進した。
 ◆五月二十八日より三十日までの三
 日間、総本山本成寺において「祠堂
 法要」が、日輝下御導師のもと厳
 修され、全国寺院よりの団参で賑わ
 った。とくに二十八日、先般御真筆
 と鑑定された、本成寺常什の宗祖御
 曼荼羅本尊の開眼法要が併せて慶修
 され、法要後の記者会見に多くの報
 道陣が集まった。
 ◆五月三十一日、総本山大本堂にお
 いて南無日香聖人の本葬が厳修され
 全国から寺院・檀信徒が多数参列し
 た。
 ◆六月二十五日、元管長、南無日桂
 聖人が遷化され、二十九日に密葬が
 営まれた。(松吉慶憲)

三月十五日
 日蓮大聖人立教
 開宗七百五十年慶讃大法要記念事業
 の一環として計画されていた、本門
 法華宗復元立宗の五十年を記録した
 『本門法華宗復元立宗五十年の歩み』
 が出版された。立教開宗七百五十年
 奉賛会高邊信幸執行委員長名で門末
 寺院・教会・僧侶・教師に配布され
 た。
 ◆六月二十八日、第九十一回本門法
 華宗宗会が、大本山妙蓮寺卯木講堂
 で開催された。本門法華宗平成十五
 年度決算の件が審議された。同時
 に行われた本門法華宗宗務院選出
 の選挙の結果、次期宗務院長に信隆
 日系師(大阪・妙光寺住職)が選定
 された。
 ◆七月五日開催された本門法華宗管
 長に高邊日授師(大阪・久成寺住職)
 が推戴された。また、本門法華宗内
 局部長・責任役員以下各師が選
 任された。代表役員総長・責任役員
 信隆日系師(大阪・妙光寺住職)、宗
 務部長増田隆雄師(大阪・久本寺住
 職)、総務部長吉村頼彦師(大阪・大
 阪・本龍寺住職)、教務部長音羽隆全
 師(京都・恵光院住職)、庶務部長眞
 鍋弘喜師(大阪・法華寺住職)。
 ◆本門法華宗学院・教育学部では三月
 二十九日、三十日に第九回教学講
 習会、六月十四日、十五日に第九十
 回教学講習会が大本山妙蓮寺卯木講
 堂にて開催された。併せて教師資格
 検定試験が行われた。(木村光正)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ野
 球ファンの気持ち、心を無視して
 いる。球団、いわゆる会社のトップ
 に立つ人間はこのような行為を
 して良いのだろうか。この世の中
 のすべての生きとし生けるものは
 お互いに生きかされ生かされている、
 と受け取るのが仏教徒の基本的生
 活態度である。まずは各球団オー
 ナー陣と選手陣が同じ机の上で議
 論し、良き答えを出せば、多くの
 野球ファンも納得し、明るい野球
 界がよみがえるだろう。(大)

あるIT企業が赤字球団を買いた
 いと名乗り出たものの、各プロ野
 球球団のオーナー陣は話を聞こう
 としない。それとプロ野球選手の
 意見や考え、そして多くのプロ